

令和5年度 第1回

小規模ホームあんきな 運営推進会議 報告書

日 時：令和5年5月19日（水） 10：00～10：30

場 所：竹下成果

出席者：9人（利用者家族2名、地域住民代表2名、大田市職員2名、事業所職員3名）

議 題

- 1.登録実績と利用状況について
- 2.令和5年度事業計画について
- 3.近況報告
- 4.外部評価関連項目
- 5.その他、意見交換

報告事項

1. 登録実績と利用状況について

- ・配布資料により確認いただいた。

2. 令和5年度事業計画について

- ・今年度の短期目標と達成するための重点事項について主任より説明を行った。

3. 近況報告

- ・火災想定避難訓練を6月と11月に予定。今年度は地域の方にも見学してもらうことへの了承を得た。日程の詳細が決まり次第、各自治会長へ報告する予定。
- ・先月、共に96歳の老々介護をしている世帯で、介護者である妻が腰椎圧迫骨折で動けなくなり、要介護者である夫の緊急受け入れを行った。妻が退院する迄の間、泊り対応を継続中。
- ・定員超過の報告について（定員 泊り：6人、 通い：15人）
 - 3/13 泊り：1名超過 （理由） 利用者の体調不良の為
 - 3/13 通い：1名超過 （理由） 利用者の体調不良の為
 - 3/20 泊り：1名超過 （理由） 利用者の体調不良の為
 - 3/20 通い：1名超過 （理由） 利用者の体調不良の為
 - 4/14 泊り：1名超過 （理由） 利用者の体調不良の為

4、外部評価関連：事業所と地域との付き合い方について

- ・5/8から新型コロナウイルス5類移行にともない、事業所と地域の交流や関りを増やしていくことを共有した。
- ・小規模利用者の地域見守りについての協力を依頼した。5月から新規利用開始された方で、天候にかかわらず再々家から出掛けてしまい家族が大変心配している状況がある。事業所としては本人が安心して過ごせる場所として必要な支援に努めていくが、波根町内で転んだり困ったりする状況を見かけた際は、事業所へ連絡していただくこととした。 ※本人家族からは了承済

5. 意見交換

【地域から事業所への意見】

・避難訓練関連での意見

前年度は地震体験の呼びかけもあり有意義な体験が出来た。防災に関連する研修などがあれば連絡してほしい。

→研修などの機会があれば随時情報提供することとした。当面の情報で6月避難訓練後の消火器訓練予定を伝えた。

【利用者家族からの意見】

・利用者の家族としては「あんきな」の利用は言うことなく満足している。

・地域別利用状況を見ての意見として、地域の拠点としての小規模は理解できるが、家が近くて帰る人もいるし、遠くの事業所の方が良い人もいるのでその方の目的や希望が大事だと感じた。

【事業所から地域（自治会長）への質問】

・自治会単位での自主防災組織では、連絡方法にSNSの活用なども取り入れておられるのか教えて欲しい。

→高齢者が多いので、便利な物でも活用できない現状がある。電話連絡を基本とし、携帯電話または固定電話で繋がりやすいものを第一連絡にしている。

令和4年度 第2回

小規模ホームあんきな 運営推進会議 報告書

日 時：令和5年7月20日（木） 9：30～10：00

場 所：第1会議室

出席者：9人（利用者家族1名、地域住民代表2名、波根駐在所1名、大田市職員1名、民生児童委員1名、事業所職員3名）

議 題

- 1.登録実績と利用状況について ＊別紙レジュメ参照
- 2.近況報告（勉強会、定員超過報告）
- 3.外部評価について
- 4.その他

報告事項

1. 登録実績と利用状況について

- ・配布資料により確認をいただいた。

2. 近況報告

- ・利用者に向けて熱中症、脱水症の勉強会を行ったことを報告した。
- ・定員超過の報告について（定員・泊り：6人 通い：15人）
- ・6/27 泊り：1名超過（理由）利用者家族が仕事で出張の為
- ・6/28 通い：1名超過（理由）利用者家族が仕事で出張の為

3. 外部評価関連事項

C 事業所と地域との付き合い方について

- ・5月の運営推進会議で地域の見守り協力を相談させていただいたご利用者について経過報告を行った。早朝や夕方、高温の時間帯に関わらず自宅から長時間出かけてしまう現状が変わらずある。事業所としては利用日に限らず家族と連携を図り、所在確認や落ち着いて過ごせる場所の提供などの対応を行っている。引き続き、地域に於いての見守りやケガや困りごと等の際は事業所へ連絡していただく等の協力を依頼した。

→波根駐在所巡査長より

徘徊される方の対応は初動が遅れると大事に至るケースが全国的に多い。スピード感が重要となるので、施設内で所在不明になった時点で駐在所ではなく大田警察署または110番通報した方が良い。「結果的に見つかって良かったね」で済めばそれで問題ないので躊躇せずに連絡してもらいたいとの意見をいただいた。
今後の法人の離設マニュアルの見直しにも反映させていく。

- ・先月、大津自治会長より囲碁を打てる場所として竹下成果で行えないかとの相談を受け、8/22から場所を提供する事となった。個人情報書類や物品を補完する倉庫も隣接している為、立ち入りをご遠慮していただく箇所へ貼り紙やトイレ場所の説明を行った。

F 事業所の防災・災害対策について

6/21 に夜間想定避難訓練を行い、実施状況と地域の方から評価を受けた。

- ① 地域からのご意見で夜間想定は夜間でしないと実際の動きが出来ないのではないか、暗さの中で行った方が色々と出来ない部分が見えてくるので、利用者の参加人数を絞るなどして実施できないか。
- ② 消火器訓練では新人職員が対象のようであるが地域の方も久しぶりに行き忘れていたところもあり再認識できた。他方で、新人だけでなく何年に一回は職員がやった方が良いのではないか。

→①夜間帯を想定した実際の時間に避難訓練、通報訓練、消火訓練などを部分的に行うように計画していく。地域の方の協力についてもマニュアル化できるように勧めていく。

- ③ 消火器訓練も含めて新人に限らず全職員が担当できるように計画する。

4. その他

中浜自治会長より、前年度に始めた地域貢献としての児童見守り隊についての評価と今年度の取り組みについて教えてほしい。継続的な取り組みであれば経過報告が必要との意見をいただいた。

→あんきなが学校前、GH が金子旅館前での見守り隊を行っていたが金子旅館前は児童の帰宅が把握できない事、また冬季は風も強く利用者の同行が難しいと評価を行い、今年今年度は GH の職員・利用者も学校前で行っている。週 2 回水曜日・木曜日に実施している状況を伝えた。

今後運営推進会議での議題で取り組みについての状況・経過報告を行うことを確認した。

令和5年度 第3回

小規模ホームあんきな 運営推進会議 報告書

日 時：令和5年9月21日（木）9：30～10：30

場 所：第一会議室

出席者：11人（利用者家族2名、地域住民の代表2名、民生児童委員1名、
波根駐在所1名、大田市職員1名、事業所職員4名）

議 題

1. 登録実績と利用状況について ＊別紙レジュメ参照
2. 近況報告（行事、定員超過、内部研修）
3. その他 意見交換

報告事項

1. 特養入所により1名減。詳細はレジュメにて報告。
2. 近況報告
 - *行事報告：8/29、8/30に納涼祭 9/19、9/20に敬老会を実施。
 - *定員超過の報告について（定員 泊り：6人、通い：15人）
 - ・8/10 泊り：1名超過（理由）退院後で様子観察を行うため
 - *内部研修について
 - 7月＝食中毒、ノロウイルス感染予防研修 8月＝褥瘡予防研修、健康出前講座（腰痛予防）実施
3. 外部評価関連事項
 - B. 事業所のしつらえ・環境について内見にて意見聴取
 - ・狭い感じがする。・家のような雰囲気が良いと思います。
 - ・入って左手の個室の段差が心配でもあるが、腰かけてから立つには丁度良いかも。
 - ・仕切りを取り払ってワンフロアにしたのは良いと思う。
 - ・利用者全員の目配りが出来、丁度良い広さと思う。
 - ・下駄箱や室内ロッカーの上に物が置いてあり、有事の際に物が落ちてきたら、利用者の方は機敏に動けないので当たったりすることが予想される。
 - ・少し物が多いのではないか。
 - 今年度は半期で内見して評価を頂く予定となっており、次回評価までに改善を図る。
 - C. 事業所と地域の方との連携・交流についての報告
 - ・地域の見守り協力をお願いしているご利用者の現状について、事業所へ出かけて過ごす生活習慣が定着した。また、主治医とも連携を図ることで突発的に出かけてしまう症状が自宅においても落ち着いている現状を報告した。
 - ・8/22から地域の方に囲碁の対局の場として竹下成果を提供した。法人のご利用者で対局の指導の要望があれば、大津自治会長から会員の方に連絡し、対応いただく協力も得た。
 - ・朝波小学校の2学期が始まり9/7から下校時の児童見守りを再開した。下校時の安全確保

が出来ていること生徒とご利用者との良いコミュニケーションも図れている。
→報告事項に対して特に意見なし。

次回予定 令和5年11月22日（水曜日）09：30～10：30